

# 2025年度 第2回 量子産業技術セミナー

The 2nd Quantum Frontier Seminar 2025

## 量子技術が拓く医療イノベーションとスタートアップ

日時 令和 8 年  
2 月 3 日 (火)  
13:30 - 16:00

講師 名古屋大学大学院 創薬科学研究科 准教授  
株式会社Quastella 取締役 CTO、創業者

加藤 竜司 氏

富山大学附属病院 呼吸器外科 教授・呼吸器・胸郭センターセンター長

土谷 智史 氏

場所 東海国立大学機構 Common Nexus (ComoNe)  
名古屋市千種区不老町 名古屋大学内  
(地下鉄 名古屋大学駅 1番出口 直通)

SAND THEATER



参加無料・要申込

オンラインとのハイブリッド開催

対象 名古屋市近郊の企業様、起業を目指す方



お申込はこちら

<https://x.gd/QLKHf>



<主催・お問い合わせ>

東海国立大学機構 名古屋大学  
Q-NC 未来社会創造機構  
名古屋市量子産業創出寄附研究部門

✉ [qnc\\_info@mirai.nagoya-u.ac.jp](mailto:qnc_info@mirai.nagoya-u.ac.jp)

☎ 052-558-9755

共催



量子フロンティア産業創出拠点  
Quantum-Based Frontier Research Hub  
for Industry Development

## セミナー概要・開催趣旨

名古屋市量子産業創出寄附研究部門(Q-NC)では、名古屋地域の企業と大学発の先端技術の融合を通じて、東海圏産業の活性化と持続的な発展に取り組んでいます。  
本セミナーでは「量子技術が拓く医療イノベーションとスタートアップ」をテーマに、量子技術を基盤とした医療イノベーションの動向と、再生・移植医療の最前線を紹介し、産学連携による交流を通じて、相互のニーズ理解を深め、新たなビジネス創出と次世代ヘルステック・スタートアップの育成を目指します。

### 【プログラム】

13:30-13:40 開会挨拶  
13:40-14:30 第1部 「研究成果を社会に届ける大学発ベンチャー創出の軌跡」

### 加藤 竜司 氏

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 准教授  
株式会社Quastella 取締役 CTO／創業者

再生医療の産業化を牽引する研究者兼起業家。  
AIによる細胞画像解析で熟練技術者の「目利き」に依存していた品質評価を自動化し、製造コストを3割削減。2022年日本ものづくり大賞経済産業大臣賞を受賞。  
ISO-TC276 Expertとして細胞製造の国際標準化を主導し、JIS Q2101原案作成委員長も務める。2019年名古屋大学発スタートアップ株式会社Quastellaを創業し、世界のバイオ企業への技術展開を推進。

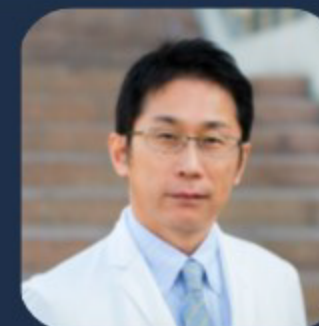


14:30-14:40 休憩  
14:40-15:30 第2部 「再生医療×移植研究の最前線」

### 土谷 智史 氏

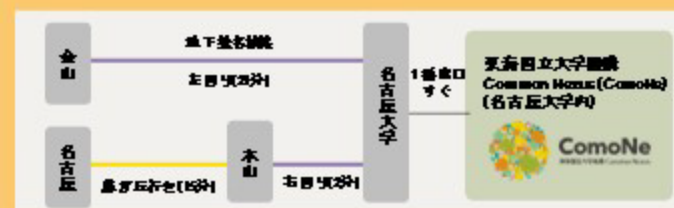
富山大学附属病院 呼吸器外科 教授  
呼吸器・胸郭センターセンター長

肺の臓器再生研究を牽引する第一人者。肺移植におけるドナー不足という課題解決を目指し、Yale大学での研究を契機に、臓器の「脱細胞化-再細胞化」技術を確立。拒絶反応を最小限に抑える革新的移植法の実現に迫る。幹細胞による血管再生や、再生肺を活用したがんモデルの開発を通じ、個別化医療や新薬開発への応用を切り拓く。2022年に富山大学附属病院呼吸器外科を創設し、再生医療の社会実装とスタートアップ創出に挑んでいる。



15:30-16:00 パネルディスカッション・質疑応答  
16:00 閉会

### 【会場 ComoNe へのアクセス】



地下鉄名古屋大学駅 1番出口 を出ると、  
Common Nexus (ComoNe) に直通でアクセスできます

### 【ComoNe 館内フロアマップ】



### 【参加申込】

■ 申込締切: 2月2日(月)17:00

※申込時に参加方法をお選びください

※オンライン参加URLは申込後にメール送付します

参加申込フォームはこちら

<https://x.gd/QLKHf>



主催



Q-NC  
名古屋市量子産業創出寄附研究部門  
Office of Quantum Research for Industry Development,  
Nagoya City University

共催



量子フロンティア産業創出拠点  
Quantum-Based Frontier Research Hub  
for Industry Development